

プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

2020年8月8日 土

海の豊かさを守ろう!

「プログラミングで海の SDGs!」は、SDGs の「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子ども達が ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

時間 10:00~16:20

場所 ガレリアかめおか

主催 一般社団法人
イエローピンプロジェクト

講演会

未来のために知っておきたい、
海とプラスチックの話

場所：1F コンベンションホール

受付開始 12:30

13:00~13:50

チケットおよび記入済み健康チェックシートを、
受付スタッフご提示ください。

世界的に深刻化する海のプラスチック汚染。実は海のプラスチックごみのほとんどは、私たちの暮らしの中から出ている身近なものばかりです。どうすれば海のプラスチック汚染を食い止められるのか、みなさんと一緒に考えましょう!

お話をする人

はらださだお
大阪商業大学 公共学科 准教授 原田禎夫先生



1975年京都府亀岡市生まれ。現在、大阪商業大学公共学部准教授。近年、深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏(いかだ)流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など、川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。

ワークショップ

海ごみ調査プログラミング
ワークショップ

場所：2F 大広間5 (湯の花)

1回目 受付開始 9:40
10:00~12:00

2回目 受付開始 14:00
14:20~16:20

チケットおよび記入済み健康チェックシートを、
受付スタッフにご提示ください。
途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです。
保護者はコンベンションホールでお待ちいただけます。

自分だけの micro:bit を使って海洋プラスチック
ごみの調査船を動かそう!



micro:bit(マイクロビット)とは、イギリスの BBC が主体となって作った教育向けのマイコンボードです。ユーザーが動作をプログラミングできる 25 個の LED と 2 個のボタンスイッチ、加速度センサと磁力センサ、無線通信機能 (BLE) を搭載しています。公式サイトには micro:bit の動かし方を学べるコンテンツがあるのでチェックしてね!

micro:bit (箱付き) は忘れずに持ち帰ってね!

協力 リトルスタジオインク株式会社

ICT の活用や、SDGs への取り組みを通じて、子ども達に未来の学びを提供

今後の社会課題解決のための取り組みとして、ICT(プログラミング)活用は重要な役割を果たします。イエローピンプロジェクトは、SDGs に関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、子ども達が ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験し、未来への気づきを得ることを目指して活動しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップ等への参加中、保護者は施設内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- 講演会やワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- 講演会は録音、写真や動画の撮影は禁止となります。ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- 講演会やワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話:03-5784-4651(平日10:00~17:00)

E-mail:info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中！
フォロー・いいね👍おまちしています！



夏が終わっても… おうちで海プロ！ オンライン開催予定！

Stay home with the sea!



コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。「プログラミング」と「海のSDGs」の両方を学べる、ステイホームで参加できるオンラインワークショップの開催も予定しています。どうぞお楽しみに！

8月中旬にチェック！



海プロのオンラインイベントは、8月中旬に公式サイトで告知！
<https://programming.or.jp/stayhome/>

こんな時だからこそ 21世紀型スキルを身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一歩
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jp.com/>



課題解決のための統計とプログラミングと一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>



プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

海の豊かさを守ろう!

「プログラミングで海の SDGs!」は、SDGs の「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子ども達が ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

2020年8月9日

時間 10:30~16:40

場所 キックス 河内長野市立市民交流センター

主催 一般社団法人
イエローピンプロジェクト

ワークショップA 海ごみ調査プログラミング

場所：3F 大会議室 AB

受付は各 20 分前より

1回目 10:30~12:30

2回目 14:40~16:40

途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです
 自分だけの micro:bit を使って海洋プラスチックごみの調査船を動かそう!

micro:bit は忘れずに持ち帰ろう!

協力 リトルスタジオインク株式会社



講演会

未来のために知っておきたい、海と川とプラスチックの話

場所：4F イベントホール

受付開始 13:00 より

13:30~14:30

世界的に深刻化する海のプラスチック汚染。実は海のプラスチックごみのほとんどは、私たちの暮らしの中から出ている身近なものばかりです。どうすれば海のプラスチック汚染を食い止められるのか、みなさんと一緒に考えましょう!

お話をする人

大阪商業大学 公共学科 准教授

はらださだお
原田禎夫先生



1975年京都府亀岡市生まれ。現在、大阪商業大学公共学部准教授。近年、深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏(いかだ)流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など、川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。

ワークショップB 初心者向けプログラミング

場所：3F 中会議室 A

受付は各 20 分前より

1回目 11:00~12:00

2回目 12:15~13:15

3回目 14:40~15:40

教育プログラミング言語 Scratch で
 海の生き物を自分で描いて、動かそう!

協力 Little Sunshine English school



受付時にご用意ください

チケットおよび記入済み健康チェックシートを
 それぞれの受付スタッフにご提示ください。

共催●一般社団法人イエローピンプロジェクト/河内長野ライオンズクラブ

後援●環境省、総務省、未来の学びコンソーシアム、河内長野市、河内長野市教育委員会

協力●Little Sunshine English School、学校法人清教学園、リトルスタジオインク株式会社

特別協力●公益財団法人 日本財団

このイベントは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップ等への参加中、保護者は施設内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- 講演会やワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- 講演会は録音、写真や動画の撮影は禁止となります。ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- 講演会やワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話：03-5784-4651(平日10:00~17:00)

E-mail: info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中!

フォロー・いいね👍おまちしています!



夏が終わっても… おうちで海プロ! オンライン開催予定!

Stay home with the sea!



コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。「プログラミング」と「海のSDGs」の両方を学べる、ステイホームで参加できるオンラインワークショップの開催も予定しています。どうぞお楽しみに!

8月中旬にチェック!

海プロのオンラインイベントは、8月中旬に公式サイトで告知!
<https://programming.or.jp/stayhome/>



こんな時だからこそ 21世紀型スキルを身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一歩
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jpn.com/>



課題解決のための統計とプログラミングが一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>



プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

2020年8月23日 日

主催 一般社団法人イエローピンプロジェクト

時間 10:30~15:30

場所 日本科学未来館7階 水星、火星、金星ルーム

「プログラミングで海のSDGs!」は、SDGsの「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子ども達がICT(プログラミング)による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

ワークショップA 海ごみ調査 プログラミング

海洋プラスチックごみの調査をします。プログラミングだけでなく、どうしてこのような調査が必要なのか、調査結果から何がわかるのかについても考えましょう。

受付開始10:10
時間 10:30~12:30

ワークショップB プログラミングで サステナブル漁業体験

サステナブル漁業 = 海の豊かさを守りながら漁業を続けていくこと。自分たちにできることは何か、プログラミングを通じて一緒に考えましょう。

受付開始13:10
時間 13:30~15:30

受付スタッフに
ご提示ください



ご記入済みの
健康チェックシート



ワークショップは
途中休憩をはさんで
およそ2時間です

自分だけの micro:bit
おうちでも遊んでね!



micro:bit(マイクロビット)とは、イギリスのBBCが主体となって作った教育向けのマイコンボードです。ユーザが動作をプログラミングできる25個のLEDと2個のボタンスイッチ、加速度センサと磁力センサ、無線通信機能(BLE)を搭載しています。公式サイトにはmicro:bitの動かし方を学べるコンテンツがあるのでチェックしてね!

micro:bit(箱付き)や配布物は忘れずにお持ち帰りください ワークショップ協力 リトルスタジオインク株式会社

ICTの活用や、SDGsへの取り組みを通じて、子ども達に未来の学びを提供

今後の社会課題解決のための取り組みとして、ICT(プログラミング)活用は重要な役割を果たします。イエローピンプロジェクトは、SDGsに関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、子ども達がICT(プログラミング)による社会課題解決を体験し、未来への気づきを得ることを目指して活動しています。



YELLOW PIN PROJECT

主催 ● 一般社団法人 イエローピンプロジェクト

後援 ● 環境省、総務省、未来の学びコンソーシアム、江東区教育委員会

協力 ● リトルスタジオインク株式会社

特別協力 ● 公益財団法人 日本財団

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップへの参加中、保護者は館内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- ワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- ワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話:03-5784-4651(平日10:00~17:00)

E-mail:info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中！
フォロー・いいね👍おまちしています！



夏が終わっても…

おうちで海プロ！

オンライン開催予定！

Stay home with the sea!



コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。「プログラミング」と「海のSDGs」の両方を学べる、ステイホームで参加できるオンラインワークショップの開催も予定しています。どうぞお楽しみに！

8月中旬にチェック！



海プロのオンラインイベントは、8月中旬に公式サイトで告知！
<https://programming.or.jp/stayhome/>

こんな時だからこそ 21世紀型スキルを身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一步
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jp.com/>



課題解決のための統計とプログラミングが一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>



プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

2020年9月20日

海の豊かさを守ろう!

「プログラミングで海の SDGs!」は、SDGs の「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子ども達が ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

時間 10:00~16:20

場所 総合福祉会館

主催 一般社団法人
イエローピンプロジェクト

講演会

海洋科学者と一緒に考えよう!
海にただよ海洋プラスチックごみの話

場所：5階 ホール

受付開始 9:30

10:00~11:00

身近な海のプラスチックごみ。海岸に流れ着くものや、海底に沈んでいくものもあります。海の生き物への影響はどのようなものな?プラスチックの未来について、研究員と一緒に考えてみよう!

お話をする人



海洋研究開発機構(JAMSTEC)
海洋環境部門
海洋生物環境影響研究センター
海洋プラスチック動態研究グループ
なかじまりょうた
研究員 中嶋亮太氏

受付時にご用意ください

チケットおよび記入済み健康チェックシートをそれぞれの受付スタッフにご提示ください。

プログラミングワークショップ
①海洋プラスチックごみ調査

場所：5階 視聴覚研修室

11:20~13:20 受付は 11:00~

途中休憩をはさんで2時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「海洋プラスチックごみの調査船」を動かそう!

協力 リトルスタジオインク株式会社



プログラミングワークショップ
②プログラミングで
サステナブル漁業体験

場所：5階 視聴覚研修室

14:20~16:20 受付は 14:00~

途中休憩をはさんで2時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「サステナブル漁船」を動かそう!

協力 リトルスタジオインク株式会社

ICTの活用や、SDGsへの取り組みを通じて、子ども達に未来の学びを提供

今後の社会課題解決のための取り組みとして、ICT(プログラミング)活用は重要な役割を果たします。イエローピンプロジェクトは、SDGsに関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、子ども達がICT(プログラミング)による社会課題解決を体験し、未来への気づきを得ることを目指して活動しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップ等への参加中、保護者は施設内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- 講演会やワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- 講演会は録音、写真や動画の撮影は禁止となります。ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- 講演会やワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話:03-5784-4651(平日10:00~17:00)

E-mail:info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中！
フォロー・いいね👍おまちしています！



おうちのパソコン
から参加できる



大好評開催中！

コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。『プログラミングクイズ + 海の豊かさを守ろうクイズ』を通じて、みんながこれからの海の豊かさについて考えるためのヒントをお届けします！※プログラミングを行うワークショップ(実技)も開催予定です



「おうちで海プロ」開催情報は、
公式サイトでチェックしてね！

<https://programming.or.jp/stayhome/>

こんな時だからこそ **21世紀型スキル**を身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや
未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一歩
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jp.com/>



課題解決のための統計とプログラミングが
一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>



プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

2020年10月11日

海の豊かさを守ろう!

「プログラミングで海の SDGs!」は、SDGs の「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子どもたちが ICT(プログラミング) による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

主催 一般社団法人イエローピンプロジェクト

時間 10:30~17:30

場所 日本科学未来館7階 水星、火星、金星ルーム

講演会

未来のために知っておきたい、
海とプラスチックの話

10:30~11:30 受付開始 10:00~

世界的に深刻化する海のプラスチック汚染。実は海のプラスチックごみのほとんどは、私たちの暮らしの中から出ている身近なものばかりです。どうすれば海のプラスチック汚染を食い止められるのか、みなさんと一緒に考えましょう!

お話をする人

はらださだお

大阪商業大学 公共学科 准教授 **原田禎夫先生**



1975年京都府亀岡市生まれ。現在、大阪商業大学公共学部准教授。近年、深刻な問題となっている海や川のプラスチック汚染について、内陸部からのごみの発生抑制の観点から取り組むとともに、京都・保津川をフィールドに筏(いかだ)流しの復活や天然鮎の復活、内水面漁業の振興など、川の文化の再生と伝承に取り組んでいる。

受付時にご用意ください

チケットおよび記入済み健康チェックシートをそれぞれの受付スタッフにご提示ください。

プログラミングワークショップ

①海洋プラスチックごみ調査

13:00~15:00 受付は 12:40~

途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「海洋プラスチックごみの調査船」を動かそう!

協力 リトルスタジオインク株式会社

micro:bit (箱付き) は忘れずに持ち帰ってね!



プログラミングワークショップ

②プログラミングでサステナブル漁業体験

15:30~17:30 受付は 15:10~

途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「サステナブル漁船」を動かそう!

協力 リトルスタジオインク株式会社

ICT の活用や、SDGs への取り組みを通じて、子ども達に未来の学びを提供

今後の社会課題解決のための取り組みとして、ICT(プログラミング) 活用は重要な役割を果たします。イエローピンプロジェクトは、SDGs に関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、子どもたちが ICT(プログラミング) による社会課題解決を体験し、未来への気づきを得ることを目指して活動しています。



主催 ● 一般社団法人 イエローピンプロジェクト

後援 ● 環境省、総務省、未来の学びコンソーシアム、江東区教育委員会

協力 ● リトルスタジオインク株式会社

特別協力 ● 公益財団法人 日本財団

このイベントは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップ等への参加中、保護者は館内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- 講演会やワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- 講演会は録音、写真や動画の撮影は禁止となります。ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- 講演会やワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話:03-5784-4651(平日10:00~17:30)

E-mail:info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中！
フォロー・いいね👍おまちしています！



おうちで参加できる
オンラインイベント



『おうちで海プロ』
にも遊びに来てね！

コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。プログラミングクイズ大会とスクラッチを使ったプログラミングワークショップを通じて、みんながこれからの海の豊かさについて考えるためのヒントをお届けします！



「おうちで海プロ」開催情報は、
公式サイトでチェックしてね！

<https://programming.or.jp/stayhome/>

こんな時だからこそ **21世紀型スキル**を身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや
未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一步
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jp.com/>



課題解決のための統計とプログラミングが
一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>



プログラミングで
海のSDGs!
エス ディー ジーズ

海の豊かさを守ろう!

「プログラミングで海の SDGs!」は、SDGs の「海の豊かさを守ろう」というテーマを学び、問題意識を高めながら、プログラミングワークショップを通じて、子どもたちが ICT(プログラミング) による社会課題解決を体験していく、新しい学びのイベントです。

2020年11月15日

主催 一般社団法人イエローピンプロジェクト

時間 10:00~16:20

場所 Showa Digital Square
(ショウワ デジタル スクエア)

講演会

SDGs と社会のしくみを
考えよう

13:00~14:00

「SDGs って何？」を講師と一緒に考えましょう。SDGs は企業にとっても重要な課題になっています。「SDGs って何？」を出発点に、今、企業がなぜ SDGs に取り組む必要があるのか、皆さんが知っている身近なお店を例に取り挙げながら、経済社会と SDGs の関係を考えてみましょう。

お話をする人

昭和女子大学
 グローバルビジネス学部
 ビジネスデザイン学科
ながや まきこ
 専任講師 **長屋真季子氏**



受付時にご用意ください

チケットおよび記入済み健康チェックシートをそれぞれの受付スタッフにご提示ください。

プログラミングワークショップ

①海洋プラスチックごみ調査

10:00~12:00 受付は 9:40~

途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「海洋プラスチックごみの調査船」を動かそう!

協力 **リトルスタジオインク株式会社**

micro:bit
 (箱付き) は
 忘れずに持ち帰ってね!



プログラミングワークショップ

②プログラミングで サステナブル漁業体験

14:20~16:20 受付は 14:00~

途中休憩をはさんで 2 時間のワークショップです

MakeCode というブロックプログラミング環境を使って、micro:bit で「サステナブル漁船」を動かそう!

協力 **リトルスタジオインク株式会社**

ICT の活用や、SDGs への取り組みを通じて、子どもたちに未来の学びを提供

今後の社会課題解決のための取り組みとして、ICT(プログラミング) 活用は重要な役割を果たします。イエローピンプロジェクトは、SDGs に関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、子どもたちが ICT(プログラミング) による社会課題解決を体験し、未来への気付きを得ることを目指して活動しています。



YELLOW PIN PROJECT

主催 ● 一般社団法人 イエローピンプロジェクト

後援 ● 環境省、総務省、未来の学びコンソーシアム、世田谷区教育委員会

協力 ● 昭和女子大学、リトルスタジオインク株式会社

特別協力 ● 公益財団法人 日本財団

このイベントは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています。

会場でのお願い

- 児童のワークショップ等への参加中、保護者は施設内に留まり、ご連絡可能な状態にさせていただけるようお願いいたします。
- 講演会やワークショップの様子は撮影され、客席エリアを含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご了承ください。
- 講演会は録音、写真や動画の撮影は禁止となります。ワークショップ中の動画撮影、録音はご遠慮いただきますが、写真撮影は構いません。ただし、SNS等に投稿する際には、他のお子さんが特定出来ないように配慮をお願いします。
- 講演会やワークショップ中は携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、サイレントモードにしてください。

連絡窓口

イベント当日・会場内連絡先

電話：080-5442-8677

お困りの際は、水色のスタッフTシャツを着たスタッフまたは、「プロプログラミングで海のSDGs!」ネームタグをつけているスタッフにお声がけください。

イベント終了後のお問い合わせ窓口

電話:03-5784-4651(平日10:00~17:30)

E-mail:info@programming.or.jp

参加後1週間以内に、新型コロナウイルス感染が明らかになった参加者の方は、速やかに上記窓口までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

公式
サイト

プログラミングでSDGs!
<https://programming.or.jp/>



@YppSDGs

公式 SNS でも情報を発信中!

フォロー・いいね👍おまちしています!



おうちで参加できる
オンラインイベント



『おうちで海プロ』
にも遊びに来てね!

コロナ禍でも子ども達には学びの機会が必要です。「海の豊かさを守ろう」をテーマにしたクイズ大会とスクラッチを使ったプログラミングワークショップを通じて、みんながこれからの海の豊かさについて考えるためのヒントをお届けします!

11/23 (月・祝) 開催決定! 12/6 (日) 開催予定!



「おうちで海プロ」詳細情報は、
公式サイトでチェックしてね!

<https://programming.or.jp/stayhome/>

こんな時だからこそ **21世紀型スキル**を身につけませんか

21世紀型スキル=近未来を担う子ども達が生きていくために必要な力



お家の中でもゲームで社会的スキルや
未来に役立つ知識を身につよう
<http://serious-games.jp/>



地球温暖化対策のはじめの一步
環境家計簿をつけてエコ活動をひろげよう
<http://www.eco-family.jp.com/>



課題解決のための統計とプログラミングが
一緒に学べます(指導者向け)
<https://www.little-studios.co.jp/kids-stat/>

